

竣工成る！ 別館女性居室棟増設のご支援、ありがとうございました。

コロナ時代を生きる、更生保護施設

山田 勘一

更生保護法人ウィズ広島 理事長

使わねば^{のんど}喉錆びゆく虎落笛 静男。長く俳号を名乗ることなく、浜松に在住している友人の近作です。共に老年にあって、新型コロナウイルス感染拡大のさなか、屈託の句境がうかがえます。じつは、私もそのころテレワークの最中、決算期のこと、職員から電話やメールが頻繁に入りましたが、なければ朝から新聞を読み、コロナ蔓延を恐れながら居眠りの日々でした。「使わねば…錆びゆく」心境に納得します。高熱者が現れた3月中旬ごろの更生保護施設現場は、人と人との接触を避けるため、にわか作りのビニールシートを事務室や調理室と食堂の間にめぐらせ、窓を開け、食卓の椅子を少なくし、検温器やマスク、消毒液の調達に奔走する日々でした。施設利用者や退所者とコロナ後を共に生きるには、人との間に距離を保ち、マスクを着用するのはルールとなりました。

退所した人が帰り際に、2階事務室に上がる階段の踊り場に座るスヌーピーを指して「…マスクしていませんね」と笑いました。その笑いに心が動きました。早速、わがス

ヌーピー君もマスクを付け、フェイスフィールドを被りました。新しい処遇や支援の様式を模索する時代に入ったといえます。かつて『断絶の時代』(P. ドラッカー、1968年)を経て、人と人とのコミュニケーションの通り路といわれる、ボディランゲージ=身ぶり語が提唱されました。50年余り前のことです。その頃、文化人類学者T. ホールは、社会的距離を120cm~210cm(近接相)と、それより遠い210cm~360cm、(遠方相)に区分して近接相を「人に会話が生まれ、心が生まれる距離」。遠方相を「視線を外せば相手しなくてよい距離」と呼びました。今、しきりに言われている社会的距離です。しかし人に大切なのは、そこからさらに距離を縮め、向かい合って一歩進めばハイタッチできる75cm~120cm。ときに危険が伴う密接距離と呼ばれる45cm~75cmの個体距離です。

この個体距離を保つとき、心は生まれ、育つといわれます。人は本来群れて愛をはぐくみ、移動し進んできた歴史をもちます。人と人との距離は1.5mから2mを理想とするコロナ時代、そのルールに則ってど



のように気持ちをシェアしてケアするか、その立ち位置に気を配りたいと思います。すでに身ぶり語=ボディランゲージを含めた新しいコミュニケーションの場を工夫している手話や介護、看護、保育、宿泊、飲食など隣接領域に学び、更生保護現場はどのように進化するか、コロナ後が試されています。それにしても、冒頭、静男作句中にある「虎落笛」ってどんな笛でしょうか、これもまた気になります。

2020.7.1

実人員増。年間利用率

2020 (令和元) 年度 (2019.4 ~ 2020.3) 事業成績報告

実人員

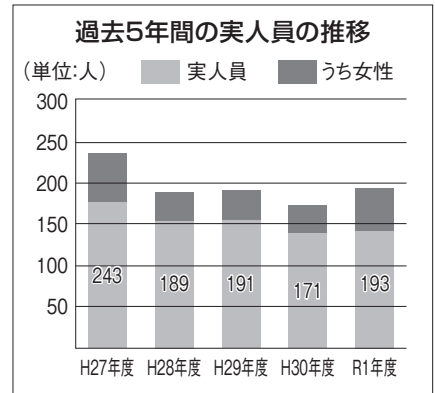
2019 (令和元) 年度中に宿泊した利用者の実人員は前年度に比べ 22 人増の 193 人、うち女性は 51 人。前年同期に比べて全体では 12.9%、女性においては 37.8%の増加です。

また、保護観察所長の委託にもとづく「救護・援護」では、前年同期に比べて 20.6%、29 人の増加となっています。対して「更生緊急保護」の人員は 30%、9 人の減少でした。

令和元年度事業成績の年間利用率は 91.4%で、前年度 88.3%に比べて増加しました。

単位：人

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
実人員	243	189	191	171	193
うち女性	56	42	43	37	51

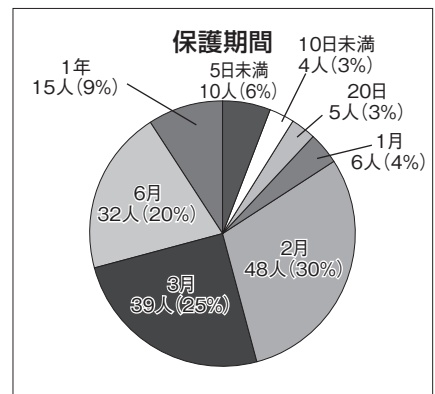


保護期間

保護期間は、2 月未満～6 月未満で退所する人が退所者の退所者 159 人の 74.8%、119 人、前年同期に比べ 11.2%、12 人増えました。1 月未満で退所した人は 25 人前年同期に比べ 3 人増えました。

単位：人

区分	5日未満	10日未満	20日	1月	2月	3月	6月	1年	2年	3年	3年以上	合計
実人員	10	4	5	6	48	39	32	15	0	0	0	159
うち女性	2	0	2	1	15	9	10	5	0	0	0	44

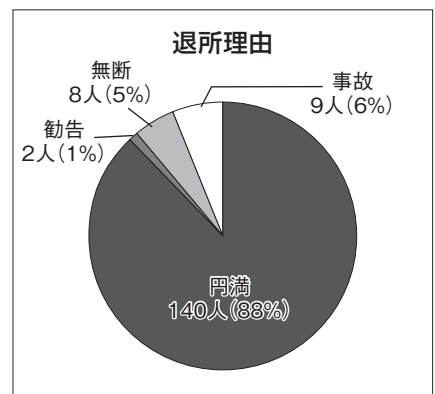


退所理由

退所理由では、事故退所者が前年同期に比べ 4 人増え 9 人、無断退所も 3 人増え 8 人でした。これらが今後の処遇の課題として残ります。円満退所者は、88.1%、140 人とほぼ安定していたことがうかがわれます。

単位：人

区分	円満	勧告	無断	事故	その他	合計
実人員	140	2	8	9	0	159
うち女性	40	0	2	2	0	44

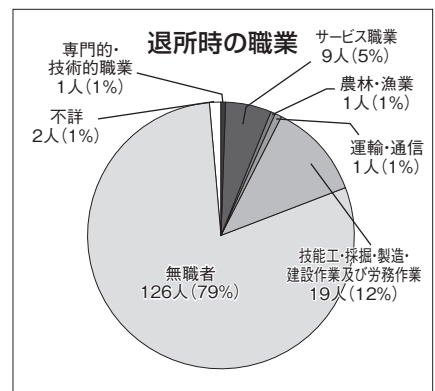


退所時の職業

退所時の職業では、無職者が 79.2%、126 人と多いのは、退所時までには離職し、転居に備えている人も含まれているためです。

単位：人

区分	専門的・技術的職業	管理的職業	事務	販売	サービス職業	保安職業
実人員	1	0	0	0	9	0
うち女性	1	0	0	0	4	0



区分	農林・漁業	運輸・通信	技能工・採掘・製造・建設作業及び労務作業	無職	不詳	合計
実人員	1	1	19	126	2	159
うち女性	0	0	3	35	1	44

9割超え安定経営へ

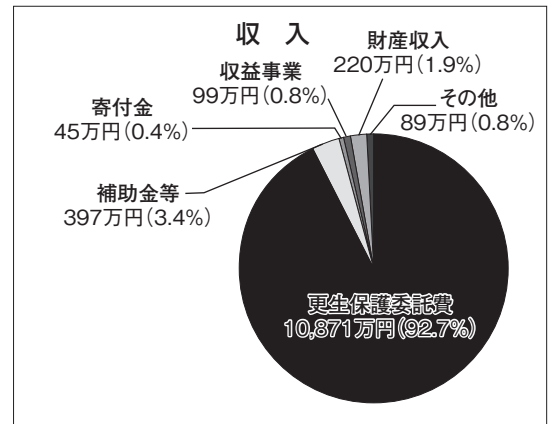
2019(令和元)年度 連結収支決算報告

収入 1億1,721万円 支出 1億1,705万円 繰越金 16万円

連結収支状況は前年同期と比べて、収入は718万円、支出は同じく718万円と、いずれも減少しました。

□収入

収入は、前年同期に比べて5.8%、718万円減少しました。更生保護委託費収入は3.1%、331万円増え、雑収入も微増していますが、この他の科目はすべて減収となっています。中でも寄付金収入は寄付者の指定等により、別館女性居室棟建築資金としたため、前年度同期に比べて91.0%、431万円の減収となっています。また、別館女性居室棟工事のため賃貸駐車場収入は前年度同期に比べて87.8%225万円の減となりました。

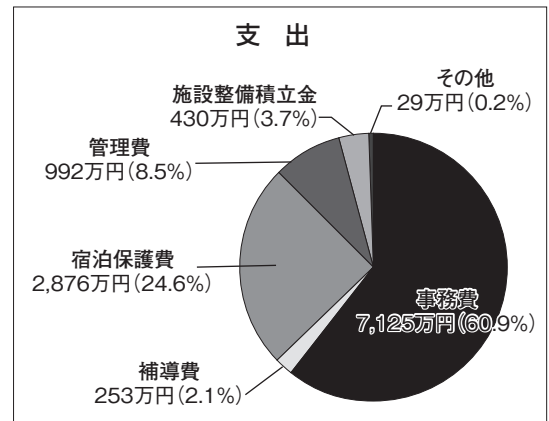


単位：万円

科目	更生保護委託費	補助金等	寄付金	収益事業	財産収入	その他	合計
金額	10,871	397	45	99	220	89	11,721

□支出

支出は、前年同期に比べて5.9%、718万円減、宿泊保護費は同じく15万円減となりましたが、他の事務費、補導費、管理費共に増額しました。今期は新型コロナウイルス危機の影響を受けて、金融情勢が悪化するなどで有価証券売却損が183万円ありました。なお、有価証券の利息及び配当収入は220万円、資産運用による収入損益は実益36万円でした。よって繰越金額は446万円、うち施設整備積立金として430万円を積み立てとし、繰越額は16万円です。

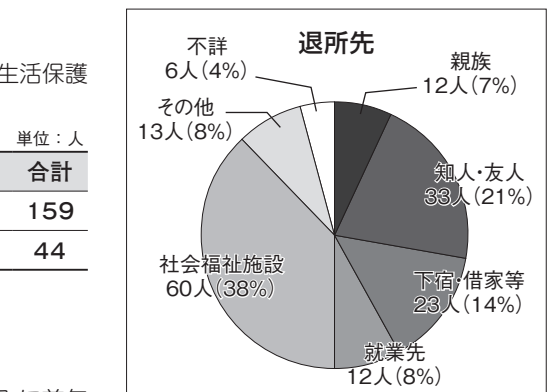


単位：万円

科目	事務費	補導費	宿泊保護費	管理費	施設整備積立金	その他	合計
金額	7,125	253	2,876	992	430	29	11,705

退所先

退所先として社会福祉施設とした者が37.7%、60人いますが、その多くは生活保護受給を希望して退所した人です。



単位：人

区分	親族	知人・友人	下宿・借家等	就業先	社会福祉施設	その他	不詳	合計
実人員	12	33	23	12	60	13	6	159
うち女性	7	12	9	1	11	3	1	44

一時保護事業

退所者フォローアップ支援実人員は188人、延べ人数は965人でした。因みに前年度実人員は287人、延べ人数は870人でした。

コロナを経て、女性居室棟増築工事を終える

藤原 一喜
更生保護施設ウィズ広島 次長

2014年頃から女性利用者が増え、居室に2段ベッドを入れて対応していたが、矯正施設の女性受刑者も人数こそ男性に比べて少ないものの依然高どまりであることから、2017年に女性居室棟増築工事の立ち上げプロジェクトをスタートさせ、更生保護施設帰住者の居場所として、基本設計、実施設計へと煮詰めていった。

利用定員6名増とし地上3階建て女性専用食堂やスタッフステーション、静養室などを居室以外に新設することにした。

2018年10月広島県をはじめ県内地方公共団体に助成をお願いして回った。全行程1,500kmとなった。各地区の保護委員会や更生保護女性会の皆さまに同行をお願いし大変な成果を得る事ができた。

11月12日には近隣の方々への説明会を開催して理解を得た。

2019年8月、工事入札を行い、8月8日、施工業者が決定して工事着手した。

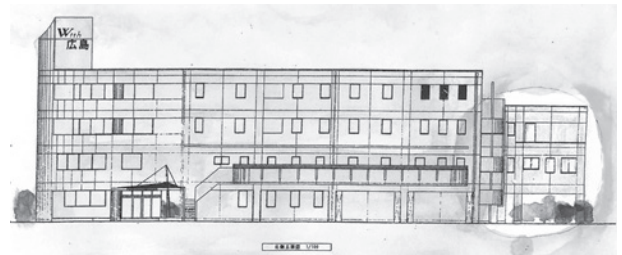
はじめは外構、キュービクル、給水タンクから工事に入り、8月29日には安全祈願祭をウィズ広島1階地域交流ルームで執り行った。

11月6日付けで建築認可となり、基礎杭19本を打設する本格工事の開始となった。

隔週、一度は関係者による工事定例会を開催して工事行程の確認や騒音対策など近隣に配慮した工事の施工に努め、これを近隣35軒に速報した。

明けて2020年1月には躯体も2階部分まで上がったが、西日本豪雨災害復旧や折からのコロナ危機の影響を受け、工事出来高は50%に満たない状態であった。

工事関係者の努力で今年4月15日事故なく、竣工、引き渡



令和元年8月29日のウィズ広島別館居室棟建設工事起工式



令和元年11月11日からの杭打ち工事



令和元年11月26日からの鉄筋組立工事

しとなった。

コロナウイルス感染拡大の影響で竣工式も延期を余儀なくされたが、それでも6月17日、ウイズ広島1階地域交流ルームで竣工式を執り行った。

完成した建物を見るたびに、ウイズ広島女性居室棟増築工事にご賛助いただいた関係者の皆様の温かいご指導ご支援が思い出される。

ありがとうございました。



令和2年4月15日別館女性居室棟完成



令和2年6月17日ウイズ広島別館女性居室棟竣工式



女性専用の食堂

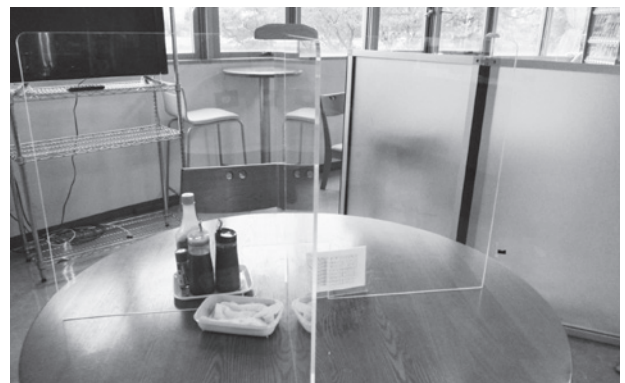


女性棟居室の様子

緊急\短信



新型コロナ拡大をまえにした3月11日、フランスTV放送東京支局記者、カメラマン等が、わが国の高齢犯罪者の社会復帰について取材した。



コロナ時代の更女給食交流会を実現する食堂テーブルの飛沫感染予防パーティションの一部。(県更女連盟寄贈)

～つながり～の場所に～ 退所者フォローアップ支援 “息の長い旅”

平日の朝、職員が出勤するより早くゴミ袋を手にして掃除をする人がいます。食堂の眺めがよい席でコーヒーを飲みながら近況を語る人がいます。彼らは退所をした人たち。ウィズがより気軽に立ち寄れるところになると、今年4月1日から始動した「退所者フォローアップ支援拡充事業」。退所した人が思いのままに時間を過ごし、支援員がそばで共に話したり聴いたり、活動をしたり。そこに、何の決まりもありません。

「退所して孤独になってしまい、犯罪を繰り返してしまうのが一番つらいこと。ここに来て話を聞くことで『つながっているよ』ということをお忘れしないで欲しい。」と、白倉支援員は話します。

「退所後、過去を伏せて生活することもある中で、ウィズに来ると全てを

受け入れてもらって話しが出来る。どんなことも包み隠さず、素直に話せるのが心の救いになっている。」と打ち明けてくれたことがあります。また、ウィズで何か作業をすることで『人の役立っている』と感じられるのが心の支えになっていると話してくれた人もいます。退所した人は、家族との関係が薄い人も少なくない。だから、帰り際にふと『体の調子が良くない』とつぶやかれると、その後の様子が気になって親戚のような感覚で電話をすることもあって。」と笑う。

寄り添うことで気づくことが毎日ある。「もっとしっかり話を聞いてあげたい。来られた方に納得して帰ってもらえるようにしたいけど、なかなかそう出来ない。時間が足りないのが私の悩みです。」

「先日は八年前に退所して一人で頑

張っていた人が、悩みを打ち明けに来られました。

いつ退所した人…といった縛りはありません。犯罪を繰り返すことなく、『また来るね』と言ってもらった時の笑顔、そしてその方の頑張っている姿をみるのが支援員としてのやりがいにつながっています。」白倉さんはそう言って目を細める。

息の長い支援が、ここから歩き始めた。

聞き手：浅枝



人事異動

(退任) 藤島秀孝理事(元広島県保護司会連合会長)が、令和2年6月17日、任期満了で退任されました。氏は平成28年7月理事に就任され、ウィズ広島と広島県保護司会連合会との連携及びウィズ広島の運営な尽力を賜りました。誠にありがとうございました。

随行克之監事(税理士)が、高齢により任期満了での退任を申し出られ、令和2年6月17日、任期満了で退任されました。氏は平成21年5月監事に就任され、以後ウィズ広島の業務執行及び法人の財産の状況について適正な監査を行われるなど多大な貢献を続けてこられました。誠にありがとうございました。

(新任) 令和2年6月18日、八崎則男氏(広島県保護司会連合会長)が理事に就任されました。

同日、坂吉英利氏(税理士)が監事に就任されました。

同日、宇恵一枝氏(広島佐伯地区更生保護女性会長・保護司)が評議員に就任されました。

職員の異動

(退職) 事務長：小根森敬子(2月29日付)、薬物専門員：野澤 忍(3月31日付)、福祉専門員：松尾能子(3月31日付)、福祉専門員：鹿嶋知之(3月31日付)

新人紹介



神田 修悦さん

補導員：3月1日付

刑務官として42年間勤務し、3月よりウィズ広島で勤務させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。



川岡 心さん

福祉専門員：3月1日付

高齢者福祉に携わってきた経験が少しでも活かせたらと思います。皆さまの自立更生の支援が出来ますよう努めてまいります。



浅枝 恵さん

福祉専門員：4月1日付

障害がある人、高齢の方々の相談業務に就いてきました。その人に寄り添いながら、共に歩んでいきたいと思っています。



白倉 弘子さん

退所者フォローアップ支援員・短時間勤務職員

今までカフェでのボランティア保護司として関わっていました。孤独による再犯を失くし、笑顔で過ごしていただけるよう心掛けてまいります。



三笥 公明さん

補導員：6月1日付

異業種からのチャレンジですが頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



中村 友貴さん

事務員：7月1日付

分からないことだらけですが頑張りますので、よろしくお願いいたします。

with WH+

伴走する協力会社「KARITA」

 代表 ^{かり} ^た ^{こう} ^し
 刈 田 浩 嗣 さん


一社名の「KARITA」が分かりやすいですね

もとは違うものだったんですが、心機一転してこの社名にしました。今年の10月で設立から5年になります。

一ウイズの就労支援をするようになったきっかけは？

協力会社になったきっかけは自分から。会社を5年前に立ち上げた時、自らウイズに申し出たんです。

一どんな会社ですか？

仕事の内容は建築全般で、解体や葺、土木工事に太陽光など25社ぐらいからお仕事をいただいています。現場は県内だけでなく県外にもあります。仕事を広げようと思っても自分一人ならどうやっても一馬力。働き手はなかなか見つからないですが、ウイズの人も真面目な人がいる。施設退所後、3年以上続けて働いている人も3人くらいいます。

一今年は大変なのは？

新型コロナウイルスの影響で4月ぐ

らいからだんだん状況が変わり、この時期としては仕事が少ないですが、昔からの付き合いのところからの依頼もあり、仕事が途絶えるということはありませんでした。

一困りごととかは？

自分たちの仕事は、天候などに左右されやすいもの。これからの季節は過酷な暑さとの戦いで、当然、皆の体のことが心配です。また、ちゃんと現場に着いているか、急に帰ったりしていないかという心配も実はあります。現在、ウイズからは8人が来てくれていますが、勤務態度については心配をするような人はいません。

一どんな声かけをされていますか？

うちに来ている人には「今の(ウイズにいる)うちに、お金を貯めんさい」と言っています。その人によって期間は異なりますが、ウイズにいる間は家賃も食費もいらぬ。だから、貯蓄のチャンスなんです。本人が頑張ったら頑張っただけの評価をしていきたいですね。

一将来への思いを聞かせて下さい

今後はもっと会社を大きくしたいですね。いずれは、自分の右腕になってくれるような任せられる人材を育てたい。真面目についてきてくれれば、年齢をとってもできる仕事を用意していくつもりです。

一「KARITA」の5年を振り返って思うことは何ですか？

働き手が増えると、自分の責任を感

じています。以前は気づかなかったのですが、真面目が一番。昔の人がいう、石の上にも3年。ホントにそう思うんです。3年続けたら人は変われると。以前は(簡単に手に出来る)一発を狙っていました。でも、それって悪いことを考えるんですよね。今、本当に真面目にやってきてよかったと感じています。

一ウイズにいる人たちに社長のメッセージをください

もう少しで50歳になる自分が一番大切だと思うのは時間です。出所したときの初心を忘れないで、もったいない時間の使い方をしてほしくないんです。なにか仕事をして、それを続けることが大事。ウイズを退所後、どこで暮らすことになっても仕事を続けていれば、いつかいいことがあります！

実際、退所の日まで頑張った人は、すぐに次の仕事に就いているんですよ。

頑張りはず、次につながっていきますから。



現場に出るとともに作業をする代表

託されたご寄付は、

寄付で振り返るウィズ広島

2020 (令和2) 年1月1日から6月30日までに、皆様からお預かりしたご寄付は、次のとおりです。

1月

朝倉祐子：犯罪白書1冊、(有)田中剛産業：ふりかけ12個、手延べ素麺3kg、カレンダー70部、南地区更生保護女性会：給食材料(写真①)、古谷孝司：スーツケース、衣類7点、中田真智子：里芋1.2kg、紅さつまいも1.5kg、調味料等、佐藤丈倫：饅頭54個、古谷孝司：靴8個、衣類10点、匿名：海苔10袋、土井壽美子：抹茶、饅頭40個、古谷孝司：靴9足、靴6個、衣類13点、匿名：単行本7冊、牧尾良二：現金10,000円、匿名：男性衣類49点

2月

河井基美代：テレビ(65インチ)1台、土井壽美子：福豆180g、木本正志：ア

イスクリーム48個、匿名：みかん2箱、佐藤丈倫：福豆1袋、生姜豆等3袋、土井壽美子：饅頭40個、抹茶、平口さとみ：菓子120個、ロスフード支援：カップスープ72個、バスタオル15枚、フェイスタオル5枚、西地区更生保護女性会：給食材料(写真②)、松尾千代子：梅干し100粒、佐藤丈倫：矢ぶすま一式、匿名：女性衣類36点、タオル6枚、靴5個、ベルト4点、林千秋：せんべい1箱、ウィズ広島賛助会：140万円

3月

広島県更生保護女性連盟：ひなあられ35個、桜餅8個(写真③)、アンザイ(株)：プロジェクター1台、平口さとみ：インスタントコーヒー20袋、味付け海

苔1瓶、ウエハース40枚、中国地方更生保護女性連盟：現金500,000円、匿名：菓子10袋、平口さとみ：菓子10袋、匿名：衣類16点、安佐南地区更生保護女性会：給食材料(写真④)、匿名：現金5,000円、平口さとみ：素麺2.2kg、卵12個(写真⑤)

4月

ロスフード支援：即席麺、バターしょうゆプリッツ、カレールー、せんべい、まな板、広東茶、フリスク等合計40点(写真⑥)、木本正志：アイスクリーム72個、嘉屋 進：現金10,000円、匿名：マスク8枚、坂井芳朗：掛時計9台(写真⑦)、匿名：手作りマスク5枚、河井基美代：衣類62点、匿名：衣類16点



①南地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニューは、ちらし寿司、ハンバーグ、サラダ、豚汁等 ②西地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニューは、ステーキ、野菜サラダ、筑前煮、きのこ汁、バナナでした ③ひな祭りに、広島県更生保護女性連盟職建会長と西・山田副会長から雛あられと桜餅を贈られる ④安佐南地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニューは、豚カツ、胡麻和え、野菜サラダ等、主食は稲荷5個 ⑤毎月のように差入れされる平口さとみさん。3月末は素麺と卵 ⑥ロスフード削減のため健闘する藤本晴男さんから届けられた支援の品々。退所者来所時及びウィズカフェ開催時に配布している

利用者につながります。

5月

広島県更生保護女性連盟：端午の節句弁当31個、柏餅35個、広島紅葉ライオンズクラブ：COVID-19マスク1,050枚、全国更生保護法人連盟：マスク400枚（写真⑧）、ロスフード支援：ハロイン用グッズ、スポンジ、カフェオレ、オレンジジュース、キムチ鍋のつゆ等合計138個・袋、平口さとみ：フェイスマスク、ディスプレイ50ピース、ハンドジェル1本、匿名：シャツ2枚、和泉 眞：マスク100枚（写真⑨）、匿名：防塵眼鏡1個、匿名：折りたたみ自転車1台、ロスフード支援：オレンジジュース1ℓ60本、広島安芸地区更生保護女性会：お菓子35個、ウェッティ35個、ドリップコーヒー35袋、マスク類81枚（写真⑩）

6月

畠山昭雄：現金10,000円、藤原薩子：甘夏ミカン1箱（写真⑪）、山本隆照：

女性衣類9点、ロスフード支援：菓子、ドリップコーヒー、マスク、ウェットティッシュ等合計51個、広島紅葉ライオンズクラブ：エタノール製剤、各種タオル、カッターシャツ、石鹸、除菌スプレー、ティッシュ、インスタントコーヒー、洗剤等合計104個（写真⑫）、平口さとみ：三輪素麺1,800g、林 千秋：現金20,000円、宇恵一枝：現金100,000円、西田志都枝：10,000円、広島ガス（株）：現金30,000円、広島県雇用主会連絡協議会：現金10,000円、特定非営利法人広島県就労支援事業者機構：10,000円、森脇宗彦：鯛、大根、人参、胡瓜、昆布等、広島佐伯地区更生保護女性会：給食材料（写真⑬）、土井壽美子：現金10,000円、嘉屋 進：現金100,000円、木本正志：アイスクリーム24個（写真⑭）、匿名：女性衣類98点、袋物45点、匿名：菓子5袋、渡邊君子：現金10,000円



⑦新築した別館女性棟に掛ける時計9台が坂井芳朗さんから贈られる ⑧マスク400枚、全国更生保護法人連盟から贈られる ⑨和泉 眞さん、マスク100枚持参される ⑩コロナ禍の中、広島安芸更生保護女性会から給食活動の代わりに、お菓子、ドリップコーヒー、ウェッティ、マスク等が贈られる ⑪いつも利用者のために贈り物をされる藤原薩子さん。このたびは甘夏1箱 ⑫定期的に物資の支援をいただく広島紅葉ライオンズクラブの幹部の皆さん。今回は、エタノール製剤、タオル、除菌スプレー等。5月には、貴重なCOVID-19マスク1,050枚いただく ⑬広島佐伯地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニューは、豚カツ、鶏と野菜のトマト煮、野菜サラダ、コンソメスープ等 ⑭木本正志さんからアイスクリームの差入れ。地域清掃後の利用者の楽しみ

みなさまの会費は、ウィズ広島の援助活動を支えます



ウィズ広島謝恩懇話会で挨拶する、ウィズ広島賛助会迫谷会長。(2020.1.22)



(退所者からのお手紙)

2019(令和元)年度会員 **160**会員
 会費収入 **175万2,000**円
 ウィズ広島への寄付 **140**万円

2020(令和2)年3月31日現在

2020(令和2)年3月31日現在の会員は160会員、うち個人会員は94会員、保護司会23会員、更生保護女性会21会員、企業・法人22会員です。今年1月1日から7月31日までに会費をお預かりした方々は次のとおりです。

ウィズ広島賛助会会長 **迫谷 富三**

【個人会員】

佐伯 穰、高木一之、嘉屋 進、山田勘一、林 千秋、畠山昭雄、宇恵一枝、谷本知子、木本正志

【更生保護女性会・保護司会会員】

大竹地区更生保護女性会、中地区更生保護女性会、安芸地区保護司会、福山地区保護司会、福山地区更生保護協会、福山地区更生保護女性会

【賛助会総会】

今般コロナ感染拡大を予防するため、ウィズ広島賛助会総会は書面によってお諮りする予定にしています。

■ウィズ広島役員等

【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、嘉屋 進(常務理事)、織建末子、中島和雄、和泉 眞、林 千秋、古屋由利子、高木一之、八崎則男
 【監事】柳原芳樹、坂吉英利
 【評議員】慶徳こずえ、木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、平口さとみ、楠本次子、大野宣江、新宅典明、西田志都枝、内海幸一、

石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛、曾川恵二、宇恵一枝

【顧問】浅尾宰正

【参与】永田雅紀

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏

【次長】藤原一喜

【補導主任】竹岡靖宏

【補導員】田中博敏、沖村和夫、神田修悦、三笠公明

【非常勤支援員】白倉弘子

【福祉専門員】岡本進佑、川岡 心、浅枝 恵

【薬物専門員】高杉敬一、田坂典子

【事務主任】玉井信子

【事務員】中村友貴

【調理主任】吉和栄枝

【調理員】江藤民子

【非常勤調理員】吉和真奈美

■ウィズ広島賛助会役員

【会長】迫谷富三 【副会長】林 千秋、反田哲顕 【理事】先小山英夫、宇恵一枝、深堀 勝、曾川恵二

【監事】堀江洋治、山本隆照

以 上